

消化酵素剤

日本薬局方 パンクレアチン

※※ **パンクレアチン「ファイザー」原末**  
**PANCREATIN [Pfizer]**

貯法：気密容器に入れ、  
30℃以下で保存。  
使用期限：3年  
(容器に表示の使用期限内  
に使用すること)

承認番号	23100AMX00092
薬価収載	2019年6月
販売開始	1952年11月
再評価結果	1983年4月

**【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】**

1. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. ウシまたはブタ蛋白質に対し過敏症の既往歴のある患者  
〔ウシまたはブタの膵臓由来の消化酵素であるため。〕

※※ **【組 成】**

販売名	パンクレアチン「ファイザー」原末
成分・含量 (1g中)	日局 パンクレアチン 1g

**【効能・効果】**

消化異常症状の改善

**【用法・用量】**

通常、成人にはパンクレアチンとして、1回1gを1日3回食後に経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

**【使用上の注意】**

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類	頻度	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	過敏症状(くしゃみ、流涙、皮膚発赤等)	

注)このような場合には投与を中止すること。

2. 適用上の注意

服用時

- (1)投与に際しては、直ちに飲み下すように注意すること。  
〔小児が誤って本剤を大量に停滞させたため、口内炎および口腔内潰瘍をおこしたとの報告がある。〕
- (2)投与に際しては、粉末を吸入しないように注意すること。  
〔本剤の吸入により気管支痙攣、鼻炎をおこしたとの報告がある。〕

**【薬効薬理】**

本剤はプロテアーゼ、アミラーゼ、リパーゼなど多くの酵素を含有し、たんぱく質、炭水化物および脂肪の消化を行う。しかしトリプシン、アミラーゼ、リパーゼなどは胃液によって活性を失うため、腸溶性皮膜をほどこして、小腸内で作用を発揮させるほうが良い。

**【有効成分に関する理化学的知見】**

一般名：〔日局〕パンクレアチン (Pancreatin)

本 質：食用獣、主としてブタの膵臓から製したもので、でんぷん消化力、蛋白消化力および脂肪消化力がある酵素剤である。

性 状：本品は白色～淡黄色の粉末で、特異なおいがある。

**【取扱い上の注意】**

調製時 酸性または強アルカリ性により失活する。

**【包 装】**

500g

※ **【文献請求先】**

ファイザー株式会社 製品情報センター  
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7  
学術情報ダイヤル 0120-664-467  
FAX 03-3379-3053



製造販売元  
**マイラン製薬株式会社**  
大阪市中央区本町2丁目6番8号

※販売  
**ファイザー株式会社**  
東京都渋谷区代々木3-22-7

